

受験番号

国際教育サブプログラム

令和7年度  
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程  
国際教育サブプログラム入学試験問題（10月実施）

## 社会人特別選抜 小論文

（11:30～12:30）

### 解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置きなさい。合図の後にも筆記用具を持っている場合には不正行為とみなします。
3. 小論文の問題用紙は1枚です。
4. 答案用紙は1枚です。選択した問題の番号を答案用紙の最初に明記して解答しなさい。
5. 日本語または英語で解答すること。

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程  
国際教育サブプログラム入学試験問題 】

受験番号

社会人特別選抜 小論文

1枚のうち 1枚目

以下の2つの問いのうち、1つを選択して解答しなさい。解答の際には、選択した問題番号（①か②のいずれか）を解答欄の冒頭（1行目）に明記しなさい。

- ① 近年、子どものウェルビーイング（well-being）の保障が、教育の重要課題として国際的に注目されている。日本においても、2023（令和5）年6月の第4期教育振興基本計画において「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が基本方針の一つとして掲げられた。ウェルビーイングの概念を説明したうえで、子どものウェルビーイングの保障にかかわる今日の教育課題を論じなさい（自分の実践経験に論及してもよい）。
- ② 日本の学校における働き方改革について、その背景にある課題を整理したうえで、教職の専門性と関連づけて論じなさい。その際、学校種別（例：小学校）を特定すること（自分の実践経験に論及してもよい）。

## 国際教育 SP（R7 年度入試）

### ◆社会人 小論文

#### 【問題】

① 近年、子どものウェルビーイング（well-being）の保障が、教育の重要課題として国際的に注目されている。日本においても、2023（令和5）年6月の第4期教育振興基本計画において「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が基本方針の一つとして掲げられた。ウェルビーイングの概念を説明したうえで、子どものウェルビーイングの保障にかかわる今日の教育課題を論じなさい（自分の実践経験に論及してもよい）。

② 日本の学校における働き方改革について、その背景にある課題を整理したうえで、教職の専門性と関連づけて論じなさい。その際、学校種別（例：小学校）を特定すること（自分の実践経験に論及してもよい）

【出題意図】国際教育に関する内容を出題することで、特定の国際教育に関する状況について問うとともに、キーワードや趣旨等の理解度についてもたずねる。また論述式で回答することによって、受験者が大学院において研究する上での文章作成力および情報や考えを整理する力等を有しているかを確認する。